

資料4
第38期第1回公運審
令和7年10月8日

公民館事業の報告

公民館名	事業区分	講座名
緑分館	少年教育事業	子ども体験講座 理科実験教室2025①おっと、音の実験だ 一エコーマイクとおどるヘビ君をつくろう②おなかのひみつ 一うんちくらべとおなかエプロンをつくろう
	青年教育事業	国際交流イベント「戦後80年 気候変動の影響を受ける国 マーシャル諸島、ツバルの歴史・文化・日本との関係」
	男女共同参画教育事業	男女共同参画講座「ワンプレートde和イタリアンな男めし」
	委託事業者 独自事業	図書館・公民館連携事業「緑センターの夏休み2025～夏休み学習室とミニ体験プログラム～」
		図書館・公民館連携事業「ビブリオバトル in みどり」
貫井北分館	少年教育事業	夏休み講座「陶芸体験」
		青少年教育講座「自由研究にそのままつかえちゃう!?夏休み理科実験講座」
		青少年教育講座「世代間交流の推進「自分だけのタッセルを作ろう」
	委託事業者 独自事業	図書館・公民館連携事業「『選別』される社会～相模原事件をとおして<問い合わせ・語る>哲学対話 Part. 4～」
		図書館・公民館連携事業「ビブリオバトルinぬくきた」
		図書館・公民館連携事業「第6回 死生観を語り合うひととき」

施設名	事業名	講座名
緑分館	少年教育事業	子ども体験講座 理科実験教室2025 ①おっと、音の実験だ 一エコーマイクとおどるヘビ君をつくろう ②おなかのひみつ 一うんちくらべとおなかエプロンをつくろう

目的・ねらい	実験や工作を自ら体験することを通じて、科学や技術に対する楽しさ・関心・興味を高める機会を提供するとともに、学年や学校の枠を超えて集う環境の中で、他者との感じ方の違いや意見交換などの交流も体験・体感する。
--------	---

定員	各20人	応募者数	①32人 ②28人	区分	実人数	区分	実人数
保育	無	参加費	①200円 ②200円	小学生未満		東町	2人
受講者数 (延べ数)	各20人 40人	男	女	そのほか	小学生	40人	梶野町
		20人	20人		中学生		関野町
対象者	市内在住、在学の小・中学生の方		15歳以上			緑町	15人
			20代			中町	1人
募集方法	月刊こうみんかん、市報こがねい、市HP、ポスター・チラシ、緑センターHP・Xなど		30代			前原町	2人
			40代			本町	4人
受付方法	往復はがきまたはEメール(多数抽選)		50代			桜町	2人
			60代			貫井北町	4人
実施場所	緑分館学習室A B		70代			貫井南町	4人
			80代以上			市外(在勤・在学)	

回	日程		内容(実施場所等)			講師(肩書)
①	8月4日	月	10-12	様々な物体を使って音の出方や振動を体験したり、置き場所による音の違いや真空中での鳴り方を実験で確認。また、エコーのかかるマイクや踊るモールのヘビ君などのおもちゃも制作。		坂口美佳子さん 科学読物研究会会員 仮説実験授業・開楽クラブ所属
②			13:30-15:30	いろんな動物のうんちの実物を見くらべたり、食べたものがうんちになるまでの体感グッズや実際に食材でミニミニうんちをつくったりと、うんち盛りだくさんの内容。		

企画実行委員	後藤	担当職員	小畠
--------	----	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	音の実験: ・しんどうやそうゆうものでいろんな音が楽しめる・たのしみながら知れたんでたのしかったです。 うんちくらべ: ・みきさーでかきませのがたのしかった。・何もかんじない。・うんこをつくれたのがすごかった。ぜったいまたきたい！・いろんなうんちのウンチを見るところ。
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	両講座とも面白かったし、講師が素晴らしい。 アンケート記入時に居住町名が分からず、記入出来ない子どもが多々居たのには驚いた。学校名での記入なら分かるとも思うのだが、もしかしたら個人情報的なことは明かさないよう指導・教育をされている可能性もあるのだろうか? 担当: 進行上の個別対応の順番を待てず集中力が持続できなかったり、講座進行から脱線しがちな子どもたちへの声掛けや見守り方、対応などに課題があると感じた。
-------------------	---

施設名	事業名	講座名
縁分館	青年教育事業	国際交流イベント「戦後80年 気候変動の影響を受ける国 マーシャル諸島、ツバルの歴史・文化・日本との関係」

目的・ねらい	気候変動の影響を受ける国 マーシャル諸島・ツバルの環境問題、持続可能な社会づくり、伝統文化などを学ぶ。また、受講者が地球温暖化対策を自ら考え、エコツーリズムや太平洋諸島の文化に対する理解を深める。
--------	--

定員	30人	応募者数	20人	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生以下		東町	3人
受講者数 (延べ数)	20人 (35人)	男	女	そのほか	小学生	梶野町	
		13人	7人		中学生	関野町	
対象者	市内在住・在勤・在学				15歳以上	1人	緑町
					20代		中町
募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP、緑センターHP、緑センターX				30代		前原町
					40代	1人	本町
受付方法	メール、往復はがき				50代	1人	桜町
					60代	6人	貫井北町
実施場所	縁分館学習室 A B C				70代	7人	貫井南町
					80代以上	4人	市外(在勤・在学)

回	日程			内容(実施場所等)	講師(肩書)
1	8月1日	金	14-16	マーシャル諸島の歴史と日本との関係ー近くで遠い国の人びとの戦後史ー(講義)	黒崎岳大(東海大学観光学部准教授)
2	8月8日	金	14-16	気候変動に揺れるツバルの人々の暮らしーそして私たちができる国際協力ー(講義)	黒崎岳大(東海大学観光学部准教授)

企画実行委員	大蔵、宮本	担当職員	伊藤
--------	-------	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	・思っていなかったお話を聞き、勉強になりました。時間はかかるけど、少しでも元の通りの景色が戻ることを願っています。一人一人の見通しが大切になって行くようです。何とかあきらめず、継続が大事かと。 ・時代にマッチ、今日的話題に触れて意義深いテーマでした。 ・(ツバル出身 詩人キャシー・ジェトニル=キジナーの)国連の詩の朗読に感動しました。ありがとうございました。
-----------------	--

企画実行委員・ 担当職員感想	・注目されない小さな太平洋の国々の現状、日本の委任統治領だったことなどを知ることができてよかったです。もっと日本の文化の影響などを知りました。 ・社会教育実習生が、講座準備、後片付け、成人大学講座の紹介などを実習。また、図書館縁分室の協力で、市内図書館より関連資料収集を担当。会場内に設置し、貸出希望者には貸出手続きを案内した。
-------------------	---

施設名	事業名	講座名
縁分館	男女共同参画 教育事業	男女共同参画講座「ワンプレートde和イタリアンな男めし」

目的・ねらい	普段料理を作る機会がない方、料理を苦手と感じている方が多い男性に、家庭で料理を作るきっかけになることを目的とする。また、小金井野菜を使用し、地元で採れる旬の野菜を知り、班でともに料理をすることにより同じ地域に暮らす仲間づくりのきっかけとなることを目的とする。
--------	---

定員	15人	応募者数	18人	区分	実人数	区分	実人数
保育	無	参加費	2,000円	小学生以下		東町	4人
受講者数 (延べ数)	14人 (14人)	男	女	そのほか	小学生	梶野町	1人
		13人	1人	人	中学生	関野町	
対象者	小金井市在住、在勤、在学の男性				15歳以上	緑町	2人
					20代	中町	
募集方法	市報7月1日号、ポスター・チラシ、市HP、緑センターHP、緑センターX（旧ツイッター）				30代	前原町	
					40代	本町	3人
受付方法	往復はがき、またはEメール				50代	桜町	4人
					60代	貫井北町	
実施場所	縁分館家事実習室				70代	貫井南町	
					80代以上	市外（在勤・在学）	1人

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	8月6日 水 10-14			講師による調理のデモストレーション 調理及び食事 質疑応答 後片付け (家事実習室)	須貝一哉（創作料理家）
2					

企画実行委員	大蔵、寺沢	担当職員	大津、小畠
--------	-------	------	-------

参加者感想 (一部抜粋)	・料理が楽しいと思った。・1人1つずつまな板があると思っていたが、結果としてみんなでわきあいあいとしながらやるのも良かった。・料理する楽しさを存分に味わえました。 ・また機会があれば参加したいと思いました。シェフの説明がとてもわかりやすかったです。手さばきには感動しました。・期待していた以上に楽しく充実した講座でした。 ・イタリアンだけでなくスペイン料理やフレンチなど別ジャンルを期待します。
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	・参加対象15人のところ、当日連絡の体調不良者を1人を除く14人での開催となった。 ・参加費を事前集金としたことは、結果として出席率の向上と受付の円滑化に繋がった。 ・参加者には季節がら衛生面の意識付けの為、調理器具の洗浄から講座に入らなかった。結果的に班内での役割分担が自然な流れで決まって行き、その後のコミュニケーション円滑化に効果があったように見受けられた。 ・講師のよく通る声と活舌、タイミングを見図っての説明と解説が好評であった様で、参加者の大半から「分かりやすかった」とのお声をいただいた。
-------------------	--

施設名	事業名	講座名
緑分館	委託事業者独自事業	図書館・公民館連携事業「緑センターの夏休み2025～夏休み学習室とミニ体験プログラム～」

目的・ねらい	夏休み中の児童・生徒の皆さんの居場所として、公民館利用団体との交流や、図書館や公民館の利用を通して職員との交流を深め、学校教育とは異なる社会教育の体験および地域の居場所として緑センターの利用につなげる。
--------	---

定員	人	応募者数	-	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生以下		東町	1人
来館者数 (延べ数)	167人	男	女	そのほか	小学生	132人	梶野町
		一	一	一	中学生	16人	関野町
対象者	市内在住・在学の小学生から大学生				15歳以上	19人	緑町
					20代		中町
募集方法	市報8月1日号、チラシ、ポスター、市HP、緑センターHP、緑センターX、三小・緑小・緑中全生徒にチラシ配布				30代		前原町
					40代		本町
受付方法	夏休み学習室：当日直接窓口 輪投げ、カラオケ、ぬり絵、工作、虫たちの居場所もつくろう：Eメール（申込順）おはなし会：当日直接会場				50代		桜町
					60代		貫井北町
実施場所	緑分館学習室A、視聴覚室、生活室、集会室AB				70代		貫井南町
					80代以上		市外（在勤・在学）

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	7月28日～8月29日			月～金 9-17 日替わり学習室（延べ119人）	—
2	8月13日			水 11-11:30 おはなし会（定員8人、参加5人）	図書館緑分室職員
3	8月22日			金 13-15 輪投げ体験（定員8人、参加9人）	緑長生会
4	8月26日			火 13-15 カラオケ体験（定員8人、参加3人）	緑長生会
5	8月18日			月 13-15 ぬりえ体験（定員8人、参加8人）	緑長生会
6	8月27日 2回開催			水 11-12 14-15 工作会：手のひら宇宙（定員各8人、延べ16人）	図書館緑分室職員
7	8月23日			土 14-16 虫たちの居場所もつくろう♪<インセクトホテルを建設>（定員8人、参加7人）	公民館緑分館職員
企画実行委員	なし			担当職員	伊藤、倉本、大津、小畠

参加者感想 (一部抜粋)	おはなし会：『そらとぶレストラン』大阪弁って楽しいですね。『丸ごと地球レストラン』が良かった。 輪投げ：もっととくてんいれたかった。らい年も来たいです。楽しかった。 カラオケ：たのしかった。またいきたい。 ぬりえ：いろんな色でぬったり、折り紙でがくを作ったり楽しかった。スカットボールも楽しかった。 工作会：思ったより簡単でした。シールをはったりジェルネイルで色付けをつけるのが特に楽しかった。 虫たちの居場所：たのしすぎてヒートショックになったよ。えだや木のかたさを知ったりしてたのしかった。早く虫が来てくれるとうれしい。
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	・延べ160人を超える地域の子ども達が公民館に来館した。図書館緑分室との連携と共に、緑センターを拠点に活動されている老人クラブ「緑長生会」さんの協力のもと、楽しみながら世代間交流通し、子ども達にとって、地域の居場所づくりにつながる「緑センターの夏休み」となったと思われる。
-------------------	--

施設名	事業名	講座名
緑分館	委託事業者独自事業	図書館・公民館連携事業「ビブリオバトル in みどり」

目的・ねらい	ビブリオバトルは、知的書評合戦とも呼ばれ「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに、小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店などで行われている本の紹介コミュニケーションゲームである。ビブリオバトルを通して、読書活動の推進を目的とする。
--------	--

定員	発表者6人／ 観覧者20人	応募者数	発表者3人／ 観覧者3人	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生以下	1人	東町	1人
受講者数 (延べ数)	3人 (観覧者)	男	女	そのほか	小学生	梶野町	
		1人	2人	0人	中学生	関野町	
対象者	小学生以上の方		15歳以上		緑町		
			20代		中町		
募集方法	市報8月1日号、チラシ、ポスター、市HP、 緑センターHP、緑センターX		30代		前原町	1人	
			40代		本町		
受付方法	発表者／電話、メール、窓口 観覧者／当日直接会場		50代		桜町	1人	
			60代	2人	貫井北町		
実施場所	緑分館視聴覚室		70代		貫井南町		
			80代以上		市外（在勤・在学）		

回	日程	内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	8月30日 土 10-11:30	発表者が順番に1人5分間で「行ってみたい所」の本を紹介した後に観覧者と発表者全員でその発表に関するディスカッションを行い、投票をしてチャンプ本を決定した。『ル・コルビュジエのインド』、『ころ』、『モモ』を紹介し、今回のチャンプ本は『モモ』作：ミヒヤエル・エンデ作、訳：大島かおり、出版社：岩波書店、に決定。	運営：公民館緑分館職員、 図書館緑分室職員

企画実行委員	なし	担当職員	伊藤、倉本
--------	----	------	-------

参加者感想 (一部抜粋)	・「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」5分間の物語を楽しみました。特に『モモ』の発表の質問で、さらに深く、バトラーとその本との出会いを知り、過去と現在、そして未来へ伝えることの意義もビブリオにはあると思いました。
-----------------	--

企画実行委員・ 担当職員感想	「行ってみたい所」の本をテーマに、開催した。発表者は、図書館緑分室にボランティアとして関わっている都立西高校の生徒を含め、3人が発表した。高校生からシニア世代まで、多様な世代の3人が発表者として本を紹介し、観覧者の投票で一番読みたくなかった本を決定した。学生が参加出来るように、開催日時や広報に工夫を図りたい。
-------------------	---

施設名	事業名	講座名
貫井北分館	少年教育事業	夏休み講座「陶芸体験」

目的・ねらい	小学生を対象とした陶芸体験講座。公民館貫井北分館で活動される陶芸サークルに講師を打診、平成26年度に当館で立ち上った「陶遊会」に講師役が決定。ペン立て等を創作。
--------	--

定員	各16人	応募者数	80人	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	500円	小学生以下	-	東町	1人
受講者数 (延べ数)	各16人	男	女	そのほか	小学生	32人	梶野町
	(32人)	8人	24人	-	中学生	-	関野町
対象者	市内在住、在学の小学生				15歳以上	-	緑町
					20代	-	中町
募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP				30代	-	前原町
					40代	-	本町
受付方法	メール				50代	-	桜町
					60代	-	貫井北町
実施場所	貫井北分館創作室、窯室				70代	-	貫井南町
					80代以上	-	市外(在勤・在学)

回	日程	内容(実施場所等)	講師(肩書)
1	7月29日 火 10-12:00	作陶	陶遊会(陶芸サークル)
2	7月31日 木 10-12:00	作陶	陶遊会(陶芸サークル)

企画実行委員	森	担当職員	村山
--------	---	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけのペン立てができたのしかったです。 ・少しむずかしい所(絵)があったけど、わたしは作のが楽しいし、自分だけのいいなと思う作ひんを作れて、さい後とてもすっきりとした気分になった。 ・作ることが好きなのでとても楽しかったです。また作りたいです。 ・ペン立てを作るだけじゃなくてほかのものも作れてたのしかったし、やさしい先生たちがたくさんいてあんしんした。
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	<ul style="list-style-type: none"> 目的であった下記2件について達成出来たと思う。 ・小学生に陶芸の基礎を学んでもらい、創作の楽しさを体験 ・初めて講師を担うメンバーの教える難しさと楽しさを経験
-------------------	---

施設名	事業名	講座名
貫井北分館	少年教育事業	青少年教育講座「自由研究にそのままつかえちゃう!?夏休み理科実験講座」

目的・ねらい	実験を通して日常に潜む不思議を見つけ出し、観察→推論→仮説→検証→実験で理科の不思議を実際に体験し、理科の面白さを学ぶことを目的とする。
--------	--

定員	32人	応募者数	76人	区分	実人数	区分	実人数
保育	0	参加費	300円	小学生以下		東町	
受講者数 (延べ数)	31人 (31人)	男	女	そのほか	小学生	31人	梶野町
				31人	中学生		関野町
対象者	午前の部：市内在住・在学の小学1～3年生。 午後の部：市内在住・在学の小学4～6年生。			15歳以上		緑町	8人
				20代		中町	1人
募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP、X			30代		前原町	3人
				40代		本町	3人
受付方法	Eメール			50代		桜町	1人
				60代		貫井北町	12人
実施場所	公民館貫井北分館創作室			70代		貫井南町	1人
				80代以上		在勤・在学	

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	8月6日	金	10-12	低学年向け理科実験講座（創作室）	三井寿哉（帝京平成大学准教授）
2	8月6日	金	14-16	高学年向け理科実験講座（創作室）	三井寿哉（帝京平成大学准教授）
3					
4					
5					

企画実行委員	森、塚田	担当職員	原田
--------	------	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> ・りかじっけんってこんなにたのしんだなとおもった。 ・いままでの理科のじゅぎょうでならっていないことがいっぱいでした。 ・4つも実験ができるで楽しかったです。丁ねいに大きな声で教えてくれてよく理かいできた。 ・つくりかたをおしえてもらったあと、どういうげんりかをおしえてもらってたのしかった。
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	参加の子どもたちがとても楽しんでいました。ニーズがあるのでまた夏休みの子ども向けに企画したいです。今後も内容をブラッシュアップしながら検討したいと思います。
-------------------	--

施設名	事業名	講座名
貫井北分館	少年教育事業	青少年教育講座 世代間交流の推進「自分だけのタッセルを作ろう」

目的・ねらい	夏休みに公民館を利用してもらい、まちの先生や参加者と、学校や学年を超えた交流を促進する。
--------	--

定員	各15人	応募者数	24人	区分	実人数	区分	実人数
保育		参加費		小学生以下		東町	
受講者数 (延べ数)	20人	男	女	そのほか	小学生	20人	梶野町
		6人	16人		中学生		関野町
対象者	市内在住・在勤・在学の小学生から25歳くらいまでの方			15歳以上		緑町	2人
				20代		中町	2人
募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP、月刊こうみんかん、NPOHP			30代		前原町	
				40代		本町	2人
受付方法	Eメール（多数抽選）			50代		桜町	3人
				60代		貫井北町	9人
実施場所	学習室C。」D]			70代		貫井南町	
				80代以上		市外（在勤・在学）	1人

回	日程			内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	8月18日	月	10-12	タッセルづくり	佐野幸子さん（てしごと教室主宰）
2	8月22日	金	10-12	タッセルづくり	佐野幸子さん（てしごと教室主宰）

企画実行委員	塚田・原	担当職員	野津
--------	------	------	----

参加者感想 (一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> とてもつくるのがたのしくて家でもつくるってみたいと思いました。なので、できたらつくるってみます。 最後のむすぶところがとてもむずかしくて時間がかかったけど、ひもを選ぶのとかがとても楽しかったです。 むすび方にはいろいろなしゅるいがある
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	<ul style="list-style-type: none"> 最後の結ぶところが難しく、みんな苦労していたが、簡単に作れてしまうものより達成感があったようだ。 最後みんなの作品を並べて鑑賞会を行った。それぞれ好きな色や素材で作ったのでいろいろな作品ができた。
-------------------	---

施設名	事業名	講座名
貫井北分館	委託事業者独自事業	図書館・公民館連携事業「『選別』される社会～相模原事件をとおしてく問い合わせ・語る>哲学対話 Part.4～」

目的・ねらい	平成26年7月26日未明、「相模原市障害者施設殺傷事件」が起きた。この事件の根底には「優性思想」「障害者福祉政策」「措置入院制度」など広範囲にわたる要素が内包されていた。講座開催日は事件発生からちょうど9年目を迎えた。本事件が風化してゆくことも考えられるため、主催講座を通じて再び対話の場を設定して、この9年間で「体感したこと、実行したこと、覚えておきたいこと、忘れてしまったこと」について語り合う。
--------	--

定員	16人	応募者数	-	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生以下	-	東町	-
受講者数 (延べ数)	9人	男	女	そのほか	小学生	-	梶野町
	(9人)	2人	6人	1人	中学生	-	関野町
対象者	どなたでも (市内在住・在勤・在学及び協定市の方優先)				15歳以上	-	緑町
					20代	-	中町
募集方法	カラーポスター・チラシ				30代	-	前原町
					40代	3人	本町
受付方法	図書館貫井北分室窓口、電話、メール				50代	1人	桜町
					60代	2人	貫井北町
実施場所	貫井北分館北町ホール				70代	2人	貫井南町
					80代以上	1人	市外(在勤・在学)

回	日程			内容(実施場所等)	講師(肩書)	
1	7月26日	日	10-12:40	哲学対話	中畠邦夫さん(哲学教師)ほか	

企画実行委員	-	担当職員	村山、田中、白鳥
--------	---	------	----------

参加者感想 (一部抜粋)	・様々な年代・職種・バックグラウンドの方々のお話を伺うことができてこの事件に対する考え方も広がり深まりました。
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	毎年同じ時期に同じテーマで対話する連携事業。今回は参加者の少なさから参加者16名全員を1グループとして最初から対話を重ねる。同じ事件でも人それぞれ考え方、捉え方の違いに哲学対話の意義が感じられた。誰もが自由に発言しやすい環境づくり、随所で進行の整理など、哲学対話には経験豊富な進行役が大切であることを再認識した。
-------------------	--

施設名	事業名	講座名
貫井北分館	委託事業者独自事業	図書館・公民館連携事業「ビブリオバトルinぬくきた」

目的・ねらい	思いがけない本との出会いを企画として、知的書評合戦とも呼ばれる「ビブリオバトル」を図書館連携事業で開催する。
--------	--

定員	8人（発表者）	応募者数	-	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生以下	-	東町	1人
10人	10人（発表者）	男	女	そのほか	小学生	-	梶野町
	(10人)	4人	6人	-	中学生	2人	関野町
対象者	小学生以上の方				15歳以上	1人	緑町
					20代	1人	中町
募集方法	市報・カラーチラシ（市内の小中高及び大学などへ配付）・ポスター・当法人HP及びX				30代	-	前原町
					40代	1人	本町
受付方法	図書館貫井北分室窓口、電話、メール				50代	1人	桜町
					60代	1人	貫井北町
実施場所	貫井北分館学習室AB				70代	3人	貫井南町
					80代以上	-	市外（在勤・在学）

回	日程	内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	8月9日 土 14-16	知的書評合戦	

企画実行委員	-	担当職員	村山、田中、國田、安武
--------	---	------	-------------

参加者感想 (一部抜粋)	<ul style="list-style-type: none"> 皆様、活発に紹介されており感心しました。色々な分野の本を知り、参考になりました。 幅広いジャンルの本があって、紹介して下さる人の個性も感じられて、とても面白かったです。 バリエーションに富んだ発表で大変興味深く拝聴しました。1冊しか選べないのが辛いくらい
-----------------	---

企画実行委員・ 担当職員感想	バトラーとして学生の参加者数名。読書好きが集まる世代間交流の場ともなった。
-------------------	---------------------------------------

施設名	事業名	講座名
貫井北分館	委託事業者独自事業	図書館・公民館連携事業「第6回 死生観を語り合うひととき」

目的・ねらい	超高齢社会・多死社会を迎えて、死が身近な日常となる社会になりつつある。死について楽しく気軽に語り合うことで、ACP（人生会議、末期治療）の疑似体験をしていただく。
--------	---

定員	24人	応募者数	18人	区分	実人数	区分	実人数
保育	なし	参加費	なし	小学生以下	-	東町	-
10人	18人	男	女	そのほか	小学生	-	梶野町
	(18人)	4人	13人	1人	中学生	-	関野町
対象者	小学5年生以上の方				15歳以上	-	緑町
					20代	-	中町
募集方法	市報・カラーチラシ（市内の小中高及び大学などへ配付）・ポスター・当法人HP及びX				30代	2人	前原町
					40代	2人	本町
受付方法	図書館貫井北分室窓口、電話、メール				50代	1人	桜町
					60代	7人	貫井北町
実施場所	貫井北分館学習室AB				70代	5人	貫井南町
					80代以上	1人	市外（在勤・在学）

回	日程	内容（実施場所等）	講師（肩書）
1	8月24日 日 14-16:30	講義、カードを用いたACPの疑似体験	高橋進一（特老三思園看護師長）ほか
企画実行委員		-	担当職員 村山、田中、白鳥

参加者感想 (一部抜粋)	・新たな角度から意見や自分の知らない体験をもとにした意見を聞くことで、自分の価値観がアップデートされていく感覚があった。
-----------------	--

企画実行委員・ 担当職員感想	ACP（人生会議）について岩手保健医療大学教授による座学の講義を冒頭で受講することで、カードを用いたACPへの理解をより深めることができた。
-------------------	--